東北地方 1か月予報

(8月24日から9月23日までの天候見通し)

平成25年8月23日 仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりで す。

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

 [気温]
 東北地方

 20
 40

 [降水量]
 東北地方

 20
 40

 40
 40

 20
 40

低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

[1週目] 東北地方 20 50 30

[2週目] 東北地方 40 40 40

[3~4週目]東北地方 20 40 40 40 高い

<予報の対象期間>

1 か月 : 8月24日(土)~ 9月23日(月) 1 週目 : 8月24日(土)~ 8月30日(金) 2 週目 : 8月31日(土)~ 9月 6日(金) 3~4週目 : 9月 7日(土)~ 9月20日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は8月30日

3か月予報:9月25日(水) 14時 寒候期予報:9月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1)30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気 温	降 水 量	日照時間	気 温()			
	()	(mm)	(時間)	1 週目	2 週目	3~4週目	
青森	20.6	133.7	165.8	22.5	21.7	19.7	
深浦	20.5	173.2	161.7	22.5	21.5	19.5	
むつ	19.4	181.2	143.5	21.2	20.4	18.6	
八戸	20.1	181.8	149.0	21.8	21.1	19.3	
秋田	21.8	182.4	165.4	24.0	23.0	20.8	
盛岡	20.2	192.8	128.4	22.4	21.4	19.2	
大船渡	20.8	232.2	123.9	22.5	21.7	19.9	
宮古	20.0	225.2	135.4	21.7	20.9	19.1	
仙台	21.9	197.4	127.4	23.7	22.9	21.0	
石巻	21.4	154.6	143.2	23.1	22.4	20.5	
山形	21.7	151.5	144.7	23.9	22.9	20.6	
新庄	20.9	169.5	133.4	23.1	22.1	19.9	
酒田	22.5	191.7	167.1	24.5	23.5	21.5	
福島	22.5	172.8	125.1	24.6	23.7	21.5	
若松	21.9	148.5	153.6	24.2	23.2	20.9	
白河	20.8	230.3	124.5	22.8	22.0	19.9	
小名浜	22.6	178.8	155.9	24.1	23.5	21.9	

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の 範囲を参考にして下さい。

(2)1981 ~ 2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3 ~ +0.4	84 ~ 116	97 ~ 107
東北日本海側	-0.2 ~ +0.5	86 ~ 111	97 ~ 107
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.4	81 ~ 117	95 ~ 108

(3)この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.7
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.7
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.8	-0.6 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.6

<参考資料(利用上の注意)>

- (1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ~ 2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。
- (2)予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10%以下や 60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。
- 出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。 (3)晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成25年8月23日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月24日~9月23日):

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

1週目(8月24日~8月30日):

高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間のはじめと終わりは気圧の谷の影響で雲が広がりやすいでしょう。

気温は、平年並の確率50%です。

2週目(8月31日~9月6日):

気圧の谷や湿った気流の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

3~4週目(9月7日~9月20日):

天気は数日の周期で変わりますが、気圧の谷や湿った気流の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数(日)

青	森	秋	田	盛	岡	仙	台	Щ	形	福	島
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
14.5	9.8	14.8	11.3	11.1	11.4	1 1. 4	10.9	12.9	10.4	11.2	10.3

晴れ日数は「日照率 40%以上の日数」、降水日数は「日降水量 1mm 以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1 週目、2 週目は平年付近、 $3\sim4$ 週目は平年を上回る予想となっている。

地域平均気温平年差 東北 地方 実測値 5 4 3 2 1 平 0 年 差 -1 (°C) -2 -3 -4 -5 8/10 8/17 8/24 8/31 9/7 9/14

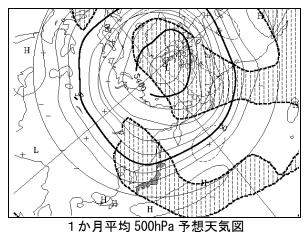
- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。
- ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1. 2週目の上空の大気の流れの予想(500hPa 予想天気図)

1か月平均:中国東北区から日本付近は負偏差だが偏差は小さい。気圧の谷は沿海州付近にあり太平洋高気圧は日本の東で強い。日本付近は気圧の谷の影響を受けやすく、湿った暖かい空気が入り高温傾向、降水量は多い傾向、日照時間は少ない傾向が見込まれる。

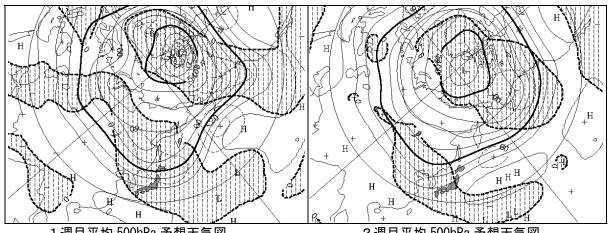
1週目:シベリア付近から日本付近まで負偏差が 広がる。前線が本州の南岸まで南下し、東北地方 は高気圧に覆われる日が多い。気温は平年並を見 込む。

2週目: 中国東北区から日本の南は負偏差だが、 北日本は正偏差に変わる。気圧の谷は中国東北区 付近にあり、太平洋高気圧は日本の東海上で強く、



図の見方は 1,2 週目と同じ。ただし偏差の間隔は 30m。

日本付近は西谷傾向。気圧の谷の影響を受けやすく、暖かく湿った空気が入りやすい。東北地方は曇りや雨の日が多く、高温傾向。



1週目平均 500hPa 予想天気図 2 実線は築真麻線(関隔 60m) 占線は信美(関隔 60m) 除影率

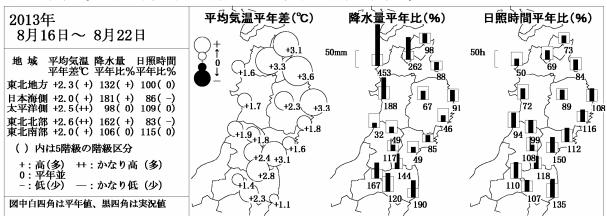
2 週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 60m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間(8月16日~8月22日)の天候の経過

この期間、東北北部は前線の影響により曇りや雨の日が多かったが、東北南部は太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多かった。暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で東北北部を中心に気温はかなり高くなった。16日は大気の状態が不安定となり、福島県で大雨となった所があった。19日から21日にかけて前線が東北地方を南下したため、各県で大雨となった所があった。

平均気温は東北北部でかなり高く、東北南部で高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平 洋側で平年並。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)